

(参考)

●「尾州毛織」について

一宮市を中心とした、愛知県尾張西部地域から岐阜県西濃地域で生まれた尾州生地の特徴は、糸から仕上げまでの多くの工程をこの地域の中で分業・協業によって一貫してできることにあります。こだわり抜かれた素材の着心地と風合いは海外でも高く評価され、数多の人々を虜にしています。

一宮市は、公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター（FDC）への積極的な支援・協力により、尾州産地の繊維産業の振興を図っています。

FDCでは、一目で尾州産のテキスタイルであることがわかるようにデザインされた「尾州マーク」を設け、様々な価値を体現する尾州産地の象徴として、「尾州」ブランドの優位性を広く発信しています。



尾州産テキスタイルで仕立てたスーツ

ポータルサイト ～BISHU-JAPAN.com～

URL <https://www.fdc138.com>



尾州マーク

●「三河木綿」について



三河木綿製のスマホカバー

三河木綿は、厚くて丈夫なことから、昔からのれんや帯芯・足袋底布など暮らしの布として親しまれてきました。縦縞のシンプルな模様から「三河縞」とも呼ばれており、綿製品ならではの風合いが特徴です。

蒲郡市では、低迷が続く繊維産業を活性化させるためには、海外及び国内他産地と差別化した三河繊維産地ならではの特色づくり、産地ブランドイメージの創出が必要であると考え、この「三河木綿」を「三河繊維産地のシンボル」として復興・活用するため様々な取組を行ってきました。

現在は、昔ながらの製造方法で「三河木綿・三河縞」の復元に取り組む「手織場」や、三河木綿の商品を扱う「アンテナショップ夢織人」、手織体験を行う「竹島クラフトセンター」などの活動のほか、市内小学校における三河木綿体験教室の実施などを通して、「三河木綿」「三河繊維産地」のPRやイメージアップを推進しています。



手織り機



三河木綿アンテナショップ 夢織人

ゆめおりびと

検索

クリック



URL <http://www.yumeoribito.jp/make/antenna/index2005.html>